



## 平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
TEL 093 - 592 - 5000 FAX 093 - 571 - 4346

北九州市民の会

検索

WEB : <http://siminnokai.sakura.ne.jp>  
e-mail : [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)



### 新型コロナウイルス緊急施策まとめる 日本共産党北九州市会議員団が申し入れ

4月13日、日本共産党北九州市会議員団は、新型コロナウイルスの感染者が、4月12日現在、全国で7,638人、市内で63人となり、医療崩壊や経済活動の低迷など、甚大な影響がある中、感染拡大を防ぎ、市民の命と健康、暮らしと営業、子どもと教育を守る立場で、市内各所で医療機関、事業者、労働者の実態調査を行い、緊急施策をまとめ、北橋市長に対して6施策21項目を申し入れました。



### 北九州で共同の広がり最低賃金要求で共同提案

4月14日(火)10時から北九州市議会棟2階第6委員会室で経済港湾委員会が開かれ、平和・労働・人権北九州共闘センターと北九州地区労連が3月議会に「最低賃金全国一律1,500円以上の実現を求める意見書の提出について」の口頭陳述が行われ、平和・労働・人権北九州共闘センター竹内議長と北九州地区労連永吉事務局長がそれぞれを代表して陳述を行いました。この行動は、2020年春闘で立場の違いを乗り越え共同行動が出来ないかと関係者が集まり協議した結果取り組まれたものです。陳情の中身は北九州での共同の広がりを感じさせるものでほぼ同趣旨の陳情となっています。委員会では、陳情に対する市としての意見を雇用政策課が述べた後、共産党の山内委員と奥村委員長から質問・意見が出され、継続審議となりました。(堀田和夫氏FB:写真は小倉タイムスから)



### 「コロナ災害 何でも電話相談会」を実施 相談電話鳴り止まず…

#### 各分野の専門家が対応を

4月18日(土)19日(日)の2日間、生活保護問題対策全国会議の呼びかけによる「コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る なんでも無料電話相談会」に北九州市社保協も連携して取り組みました。当日は三密を避け、相談員の感染予防対策も施しながら多岐にわたる相談を想定して、弁護士・司法書士・社会福祉士・生健会・民商・労組団体など各分野の専門相談員を配置し延べ23名の相談員で対応しました。準備した4回線の電話は終日鳴り続け2日間で245件の相談が寄せられました。マスコミの関心も高く新聞、テレビ各8社から取材をうけました。



#### 不安と悲痛の聲が続々と…

相談内容として一番多かったのは、国民一人あたり10万円特別給付金の件でした。直前に安倍首相が方針転換し対策を打ち出した関係もあり、多くの相談や質問が寄せられました。特に生保受給者からは「自分たちは支給されるのか? もらっても収入認定にはならないのか?」など不安の聲が聞かれましたが「現段階では詳細は決まっていないが、一律給付は当然で収入認定もすべきでないと考えます」との回答に皆さん納得されていました。(その後、厚労省より「収入認定はしない」旨の方針通達あり) その他では外出自粛と休業要請の影響で「売り上げが激減。家賃や光熱費を払うと店の営業が続けられない」といった自営業や個人事業主に加えフリーランスの方からの「仕事が全てキャンセルになり収入がゼロになった。この先どうやって生活して

いったらいいかわからない」など切実な相談が多かったのが特徴的で、やはり自粛や休業要請と補償はセットで行われるべきだと実感しました。また、ローンや税金が払えないなどの債務問題や解雇や雇止めなどの労働問題、帰省から帰って来たらコロナの疑いをかけられたなどの風評被害の相談もありました。

北九州・福岡以外の各県からも

今回、九州・沖縄ブロックでは北九州市(2日間)と鹿児島(18日)のみの対応だったため他県からも多くの相談が舞い込んできました。熊本からは「震災後、やっと生活の目途が立ったのに今度はコロナウイルスで仕事と収入が減りダブルパンチ。どうしていいものか…」との切迫した相談も寄せられました。その他、各地からの相談で緊急性・重要性があると判断した事例はそれぞれの地域の相談窓口を紹介しました。

#### 国の対応に不満噴出

相談を受けた方には可能な限り「国の施策の評価と要望」を聞くことにしました。多かった意見は「対応が後手後手。分かりやすい施策をスピーディーに。もっと国民に目を向け、税金の使い道を考えてほしい。」など今の政府に対する不満が大多数を占めました。「リーダーシップのとれない首相は要らない。ここまで来たら、もう政権交代しかない!」と言い放った方もいました。国が本気でウイルスの感染拡大を食い止め早期収束を目指すのなら、私たちの声を真摯に受け止め「国民のいのちと生活を守る」覚悟と責任を持って国民と共に、この国難に立ち向かう先頭に立つべきだと思います。(北九州市社保協 岡本)

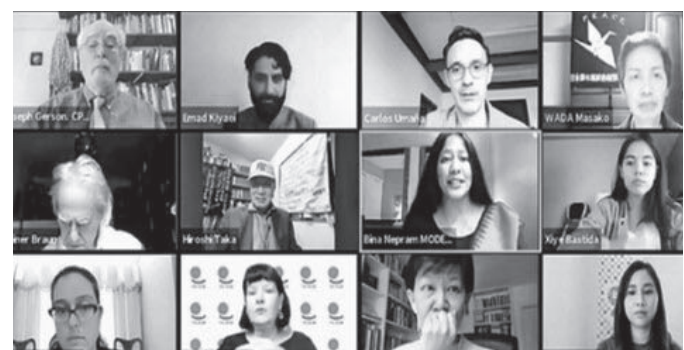
### 北九州ネットが19日定例行動

コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るう中、緊急事態宣言が出され外出自粛や3密を避けるよう呼びかけがある中、4月19日(日)14時から小倉駅前広場で、平和をあきらめない北九州ネットからスタンディング宣伝の呼びかけがあり37人が参加しました。参加者は、「コロナに便乗した改憲反対!」「補償なくして自粛無し!」「自粛と補償はセットで!」「マスク2枚 舐めてんのか!」「生活保障が感染対策だ!」「止めよう!改憲発議」「病院にマスクと資金援助を!」「イベントキャンセル!国の責任で補填を!」等を掲げて1時間スタンディング宣伝を行いました。宣伝行動の時間中、人出はほとんどなく、本当に寂しい宣伝行動となりましたが、各団体の代表がマイクを握り元気いっぱい訴えを行いました。(堀田和夫氏FBより)



### 人類と地球を守る連帯をオンライン原水爆禁止世界大会

世界的に新型コロナウイルス感染が広がるなか、「核兵器廃絶、気候危機の阻止と反転、社会的経済的正義のために」をテーマに25日、オンラインで原水爆禁止世界大会(ニューヨーク)が開かれました。国連の中満泉軍縮担当上級代表と日本原水爆被害者団体協議会の田中熙巳(てるみ)代表委員も参加。被爆者や環境活動家、平和団体代表など多彩な分野から9人が発言しました。世界各地から1000人が参加し、インターネット配信されました。「核兵器廃絶のためのたたかいと現局面」をテーマに5人が発言。被爆体験を語った日本被団協の和田征子事務局長は、「苦しみは深く続き、被爆者の子どもたちに今なお、体と心に影響を与えている。この非人道兵器はいかなる条件でも使われてはなりません」と述べました。主催したのは世界大会ニューヨークの企画委員会。アメリカフレンズ奉仕委員会や国際平和ビューローなどのほか、日本から日本被団協、日本原水協、原水爆禁止日本国民会議が呼びかけました。(4月27日しんぶん赤旗より)



### コロナから雇用と営業を守るメーデー100年 ネットで配信

日本初のメーデーから100年の伝統を受け継ぎ、新型コロナウイルス感染拡大から雇用と営業を守ろうと1日、第91回メーデーが開かれました。感染防止のため、中央メーデー式典はインターネットで動画配信。全国の職場・地域で画像や動画によるメッセージ発信でメーデーに参加しました。

中央メーデー実行委員会の小田川義和代表委員(全労連議長)が主催者あいさつ。動画メッセージで日本共産党の志位和夫委員長は、「思想・信条の違いを超えて感染爆発と医療崩壊を止め、命と暮らしを守り抜くために力をあわせよう」と強調しました。

各団体決意表明で、「医療現場への緊急支援と、普段からゆとりある人員配置の医療・介護の制度改善を」(東京医労連)、「最低賃金の1500円、全国一律制は生活を守るだけでなく、地域経済を復活させていく要の政策だ」(東京・新宿区労連)と訴えました。

メーデー宣言では、安倍政権に対し消費税減税、軍事費削減などを求め、大企業にも内部留保還元を要求。「すべての国民に社会不安を解消する『自粛と補償』一体の緊急コロナウイルス対策を求めていく」としました。



### コロナに乗じた改憲許さない 平和と命、人権守れネットで憲法集会全国に発信

日本国憲法の施行から73年を迎えた3日、「憲法にもとづき命と暮らしを守れ。コロナ禍に乗じた安倍改憲は許されない」と各地でスタンディングやSNSなどを使ってアピールしました。「許すな! 安倍改憲発議! 平和と命と人権を! 5・3憲法集会2020」は、国会前で市民らによるスピーチをインターネットで発信する形で開かれました。実行委員会が主催し、総がかり行動実行委員会と「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」が共催しました。



### 憲法施行73周年にあたって小池晃氏が談話

一、今年の憲法記念日は、新型コロナウイルス感染拡大が、国民の命と健康を脅かすとともに、あらゆる社会・経済活動を大きく抑制する、きびしい状況の中で迎えている。国民がかつて経験したことがない苦難に直面しているときだからこそ、憲法の理念を生かす政治に転換することが強く求められている。



外出自粛や休業要請と一体の補償を行うことをはじめ、国民の生活を支え、事業の継続を支えるために力を尽くさなければならない。それは感染拡大を防止する政治の責任であるとともに、個人の尊重と幸福追求の権利(13条)、生存権(25条)と財産権(29条)など、憲法が保障している国民の権利を実現する政治の責任である。

一、許しがたいのは安倍首相が、「新型コロナウイルスへの対応も踏まえつつ、国会の憲法審査会で議論を期待したい」などと自らの改憲策動にコロナウイルス問題を利用しようとしていることである。「憲法に緊急事態条項を」などという議論は、感染拡大防止につながるどころか、逆に政府の行う「対策・政策」への異論・批判を封殺し、政権の意のままに政治をあやつる体制をつくらうというものに他ならない。こうした体制では、幅広い専門家の知見を結集することも、国民の自発的な協力を得ることもできない。

国民には「団結」を説きながら、国民多数が反対している改憲問題を、この時期に持ち出すのは自己矛盾であり、究極の「火事場泥棒」とも言うべき暴挙である。

一、日本共産党は、新型コロナウイルスから国民の命と暮らしを守るために、国民のみなさんと手をとりあって全力をあげる。憲法9条改憲をゆるさず、平和と民主主義、基本的人権を擁護するために、広範な市民、野党と協力・共同を広げ、憲法の理念を生かす政治を実現するために奮闘する決意である。

### 核兵器より命を 平和大行進 オンラインで出発式

コロナ禍のなか8月6日(広島)、9日(長崎)の原水爆禁止世界大会に向け、2020年原水爆禁止国民平和行進は6日、東京-広島コースの出発式をオンラインで行いました。アメリカやフィリピンの青年を含め約100人が参加しました。主催は同中央実行委員会です。



### オンラインで原水爆禁止世界大会 8月2、6、9日 人類・地球のため

8月に「被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」をテーマに「被爆75年 原水爆禁止 2020年世界大会(オンライン)」を開催します。8日、オンラインで開いた原水爆禁止世界大会実行委員会総会で決めました。国際会議(2日)、広島デー大会(6日)、長崎デー大会(9日)を開催します。

原水爆禁止日本協議会(日本原水協)の安井正和事務局長は、世界大会の意義と課題について、▽人類と地球の未来のために一原水爆禁止運動の役割を果たす▽「核兵器のない平和で公正な世界」実現の展望を開く▽被爆国日本の運動の決意を示す一の3点を掲げ、幅広い参加で成功した「オンライン世界大会ニューヨーク」を引き継ぐ世界大会にすることを呼びかけました。

同実行委員会の高草木博共同代表が、世界大会のテーマや名称、プログラムなどを説明。地球の自転に合わせて世界をまわる草の根の共同行動「平和の波」について、広島に原爆が投下された8月6日午前8時15分の黙とうを起点に、長崎に原爆投下された9日の午前11時2分の黙とうを集結として提案しました。

世界大会の支持・賛同と成功に向けて、ヒバクシャ国際署名を大きく広げ、日本政府に対し核兵器禁止条約の調印・批准を求める自治体意見書採択などの運動を広げること呼びかけました。

日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)、日本山妙法寺、日本青年団協議会が連帯のメッセージを寄せました。

### 事務局だより

みなさん、お元気ですか、大丈夫ですか。コロナ禍で気分がはれませんか。

市民運動も、すべて中止に追い込まれています。「高齢者福祉乗車券」の実施を求める署名活動も、当初大変な反響でしたが、すっかり足が止まってしまいました。市民の会としては、5月20日(水)10:00に事務局会議を持ち、5月30日(土)に予定されています最終署名集約に関して検討いたします。おそらく、各区でこれまで集められた署名の原本をもちよりご相談させていただくことになろうかと思えます。20日の事務局会議を受けてご連絡させていただきます。どうか無理をせずご活動ください。

事務局長だより 1

今年のメーデーで喜寿になりました。元気いっぱいです。野球は現役。90歳でランニングホームラン!

事務局長だより 2

そのメーデーの日に、健和看護学院から突然の電話。

学院「講義は、ZOOM ミーティングでやります!」

三輪「ええ、ほんまかいな」

要するに、写真のように、学生さんは、私の講義も自宅でPC かスマホで受けることになります。その講義が5月11日から始まります。今学院の先生方は、開講に備え、全員必死で取り組んでおられます。その姿を見て感動しました。健和会をはじめ医療関係者の皆さまに心から感謝します。そして、頑張り健和看護学院! みなさまも、どうぞご支援ください。

